



木口記念会館だより 第11号

市民活動団体交流の集い 開催

10月27日、当館3F大会議室で「市民活動団体交流の集い」を開催いたしました。このイベントには、最近2年間に当財団の助成金にお申込みいただいた団体から42団体70名のご参加をいただきました。

これは、参加者が五、六人のグループに分かれて、あらかじめ決められたいくつかのテーマに沿って、テーマが変わるごとに席替えをしながら、色んな人と意見交換をして議論を深める方法で、佛教大学の所めぐみ先生のご指導をいただきました。

やはり話題の中心は・・・

今回のテーマは

「今、私（達）が力を入れて取り組んでいること」

「これから、私（たち）がやっていきたいと考えていること」

「他の人たちや団体と一緒にやりたいこと」

の3つにしました。



また、職員やスタッフは、各テーブルのホスト役となり、席替えはせずに、テーブル毎の話題を参加者と共有しました。

そして、今回は、東日本大震災の被災地参加者、兵庫県は阪神淡路大震災の被災地であったことから、やはり話題の中心は震災に関することが多く、さまざまな課題・問題点を共感して共有したと思います。

テーブルで出会った東北の団体からは、今年のオリンピック開催が決まって元気になる気持ちと同時に国の

財政的支援が、オリンピック開催費用にまわされるのではと、不安になっている団体もいました。

やはり、3年を経とうとしている現在でも、障がい者等の社会的弱者には、まだまだ復興の兆しは遠いということが強く印象に残りました。

（次頁へ）



会のまとめ 全体のわかちあい

最後に、参加者それぞれが、青い付箋に「今日の会で印象に残ったこと」ピンクの付箋に「今日出会い、対話を通じてこれからやってみようと思ったこと」を付箋に書いて、模造紙の大きな木の絵に貼っていただき全体のまとめとしました。

皆さんのご意見でイラストの木が見えないぐらいにたくさんの意見をいただきました。その中の意見を少し抜粋して掲載させていただきます。

「今日の会で印象に残ったこと」

- 地域を超えて交流ができた。
- 東北復興を考え続けている方々がいて少し安心した。
- 事業展開にいいアドバイスをもらった。
- 被災地の現状が明確に伝わっていない。
- 就労の販売品等の販路の拡大や知識。
- もう少し時間がほしい。

「今日出会い、対話を通じてこれから

やってみようと思ったこと」

- 継続的な東北への復興支援。
- 授産品のコラボ。
- もっと被災地の現状を各地に伝えていきたい。
- 自分たちのグループのみでの活動で終わることなく、他のグループにも参加していきたい。
- 福島へ行って現状を目で見て肌でかんじてみたい。



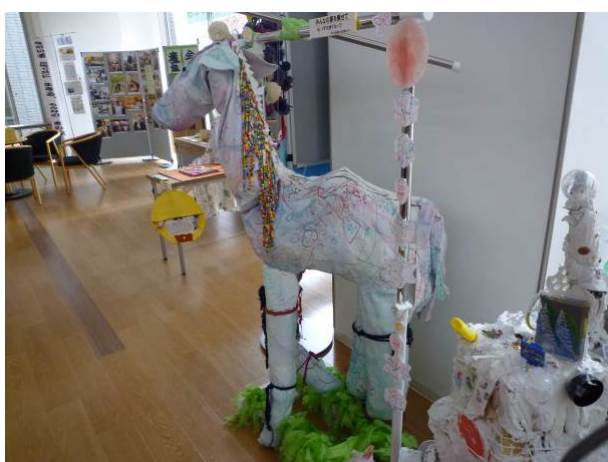
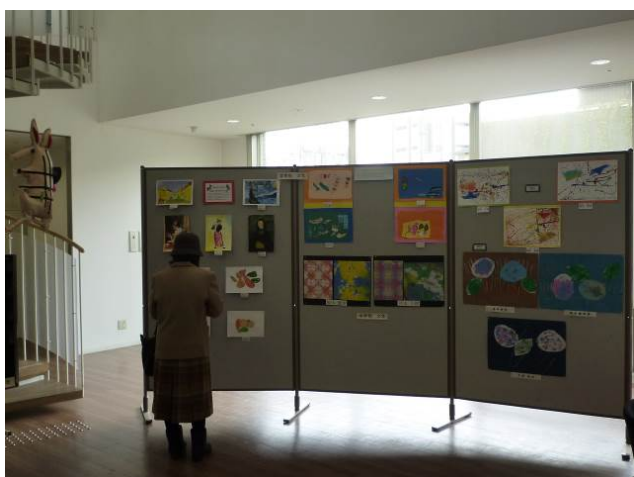
最後になりましたが、今回の交流会にご参加いただきました、の方々、協力していただきましたスタッフの皆様、本当にありがとうございました。財団としても、たくさんのお意見をいただきました。そして、今後の交流会をより良いものに作りあげていければとおもっております。

第6回 障がい児・者作品展

11月7日～11月14日に障がい児・者作品展が開催されました。

この作品展は、芦屋市在住や在学・通勤されている障がい者の方が制作した芸術作品を、芦屋市保健福祉センター1階と当会館の1階に展示しました。

今年で6回目となりますが、当会館と芦屋市保健福祉センターでは第4回からの3回目のイベントであり、会館が誕生してから毎年開催されていきます。



当会館では主に、芦屋特別支援学校の生徒たちの作品が展示されました。

絵画はもちろんの事、実習で製作しているさをり織を使ったポーチやペンケース、紙漉きで作ったハガキ、映像を使った芸術作品までありました。

また、保護者の方が観にこられ、普段なかなか目にするのではないお子さんの作品を目の前にしてとてもうれしそうな顔をしているのが印象的でした。たまたま立ち寄られた地域の方々も、方も作品の出来栄に驚き、感心されていました。

会館を通じて、小さくても色々なつながりが生まれることは、当会館職員も本当にうれしく思います。

清掃従事者慰労交流会

平成25年12月6日(金)に、日頃より木口記念会館と芦屋市保健福祉センターの清掃でお世話になっている皆様とゆっくり交流する場を設けるため、今回で3回目となる清掃団体との交流会を行いました。この時になると、清掃をしていただいている団体の方からも、「今年はなにをするの？ビンゴはあるの？」という声を多く頂き、楽しみにしてもらっていると思うと、職員も力が入ります。



当日は、清掃を委託されている障がい者団体を中心に40名あまりの方にご参加いただきました。

交流会の内容ですが、まず昨年とは違い座席はくじ引きで当日決定するというもの。

普段深く関わりのない団体の利用者さん同士が同席し合うのはとても新鮮に感じました。

そのあと、各団体の新しいメンバーの紹介があり今年からは女性の利用者の方も清掃に従事されています。

また、昨年より、清掃団体の方々に1つレクリエーションの企画と進行をお願いしており、今年では三田谷治療教育院に白羽の矢が立ち「よろしくじゃんけん」というレクを行いました。



この「よろしくじゃんけん」というのは、2人1組でじゃんけんを行い、勝った方が自己紹介をして、席に戻る。負けた方は勝つまでじゃんけんをしなければいけないというレクです。今回は最後の2名になるまでじゃんけんを行ってもらい、残った2名には皆の前で自己紹介をするという形をとりました。

みなさん恥ずかしいのか、残らないよう必死にされており、勝った時の喜びの笑顔はとても素敵でした。

最後に残った2名も恥ずかしながら、「さっきの必死さはいざこに？」と思わず笑ってしまいました。

そして、毎年恒例のビンゴゲームですが、今年も清掃団体の利用者さんには、豪華景品があたるのですが・・・毎年ビンゴをしても辞退される方が多い団体の職員や関係者にも職員用の豪華景品を用意しました。

この職員用の豪華景品については、当日ビンゴするまで誰にも知らされておらず、司会者とわずかな人間しか知らないもので、実はビンゴをする超激辛のクラッカーやドリンク、苦いお茶などの罰ゲームがまっっており、利用者は豪華景品をあてて喜ぶ横で、悶絶している職員の姿をみて、より一層盛り上がりを見せました。

やはりこういった交流会では普段清掃の場でしか接しておらず、見ることでできない一面を見ることができとてもよかったですとおもいます。

また、交流会が終わっても「この前はありがとう。またやってね」と言われると、とてもうれしく感じます。

最後になりましたが、日頃から建物を本当に綺麗にさせていただいており職員一同感謝しております。

そして、来年ももっと盛り上がるような企画を考えていきたいとおもいます。

さをり織りバザー

12月10日・11日に芦屋メンタルサポートセンターによる「さをり織りクリスマスバザー」が当会館の1階多目的ホールにて開催されました。

年に2回行われるこのバザーは当会館で昨年より行っているイベントで、障がい者の方が、制作したさをり織りの商品は回数を重ねるごとにどんどんクオリティーが上がっており、それに比例するかのようにより、お客さんが増えています。

今回のバザーはなんと地方新聞にも掲載され、より一層来客数が多く感じました。

また、芦屋市保健福祉センターにある就労支援カフェも出張喫茶を行い、このイベントでしか味わうことのできない飲食を販売しており、非常ににぎわっておりました。



防災、消防訓練の実施

11月27日に芦屋市保健福祉センターと合同で地震が発生した場合を想定した防災訓練と建物内での火災を想定した消防訓練を実施しました。

消防訓練は毎年2回行っていますが、地震想定での防災訓練は今年が初めてです。

今回の防災訓練は第1回目ということで、地震が発生した直後の対応と避難経路を確認しました。

また、消防訓練に関しても、以前消防署で働いておられた警備の方もおられ、火災状況報告の際もしっかりとした応答に、より一層訓練参加者にいい意味での緊張をあたえました。

避難終了後は、従事者に対して消火栓を使った消火訓練を行いました。

消火用のホースが何処にあり、どのようにして使うかをまず知り、その後実際に放水を行いました。

今回の放水量は実際の三分の二程度で行いましたが、それでもしっかりと踏んばらないと水圧で後ずさりしてしまいそうになり、実際に何名かの女性の方は、水圧に圧倒されていました。

このような日々の積み重ねが、不測の事態に陥った時、しっかりとした対応ができる事だともっております。

木口記念会館からのお知らせ

「障害者のためのJobトレーニング」

参加者募集のお知らせ

大阪府八尾市にある「ITバーチャル八尾」によるJobトレーニングが、平成26年1月18日より当会館3階大会議室にて実施されます。

このJobトレーニングは、4つのコースに分かれており、パソコンを使ったワードの使い方の「パソコン基礎コース」や、ブログを使った「ホームページコース」、ビジネスで必要となるメールの書き方や電話対応などの「ビジネスコース」等を実施されるそうです。

また、無料のインターネットテレビ電話を使用して行うので、全国どこでも受講することができます。

日程、参加方法、各コースの説明やお問い合わせ先は別紙「障害者のためのJobトレーニング参加者募集」のチラシをご覧ください。

ホームページのリニューアル

この度当財団のホームページをリニューアルいたしました。

今までにはなかった財団の沿革などが増え、皆様によりたくさんの情報をお伝えしていこうと思っております。

ぜひ一度ご覧ください。

年末年始の休館のお知らせ

誠に勝手ながら平成25年12月27日～平成26年1月9日迄木口記念会館を休館とさせていただきます。

お問い合わせ先

公益財団法人 木口福祉財団 木口記念会館 会館事務局

芦屋市呉川町14-10

TEL 0797-35-5262 / FAX 0797-35-5261 / URL <http://www.kiguchi.or.jp>

発行：公益財団法人 木口福祉財団 発行日：平成25年12月25日